

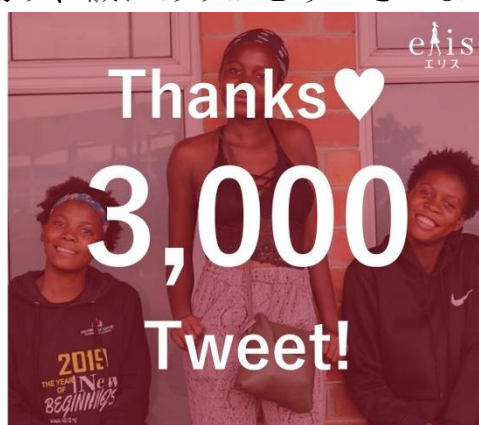
世界の女の子を♥でサポート

チャレンジし続ける世界の女の子を応援する「ハートサポート2021」
開始2週間で目標3,000投稿達成
2021年4月よりザンビアで支援活動開始

エリエールブランドの生理用品「エリス」を展開する大王製紙株式会社（住所：東京都千代田区）は、世界の女の子たちへの支援活動「ハートサポート2021」を2021年2月1日（月）より実施しています。

「ハートサポート2021」は、Twitterでハッシュタグ「#ハートサポート」をつけて同活動に対する感想またはザンビアへのメッセージを投稿すると、1件の投稿につき布ナプキン1枚の作製費がザンビアの女の子たちに支援される取り組みです。

この度、多くの方からご賛同を得て、プロジェクト開始からわずか2週間で上限目標としていました3,000ツイートをいただき、3,000枚分の布ナプキンの作製支援が決定いたしました。あたたかいご支援を賜り、誠にありがとうございます。



Twitterでは、ハートサポートの活動やザンビアについて様々なご意見・メッセージを投稿いただきました。

現地での支援活動は、特定非営利活動法人 AMDA 社会機構と協働で、2021年4月より開始します。ハートサポート公式ホームページ(<https://www.elleair.jp/hs/>)にて2021年4月から2ヶ月おきに活動レポートを更新予定です。

多くの皆様からご賛同いただいたことを感謝するとともに、当社はこれからも世界中の人々の豊かな暮らしを実現するために「ハートサポートプロジェクト」を通して世界中の女の子を取り巻く環境について考え、行動するきっかけづくりを提供します。

● 「ハートサポートプロジェクト」について

2018年、「チャレンジし続ける女の子を応援する」をコンセプトとした生理用品「エリスコンパクトガード」の発売を契機に、世界の女の子たちのおかれた環境について考えるきっかけ

としてほしいとの思いから「国際ガールズ・デー(10月11日)」にハートサポートプロジェクト活動を開始。2018年、2019年に続き、コロナ禍での休止を経て今年で3度目の実施となります。

◆ハートサポート 2021 活動内容

①SNS を通じた布ナプキン作製支援

Twitter でハッシュタグ「#ハートサポート」をつけてハートサポートの活動に対する感想またはザンビアへのメッセージを投稿すると、1件の投稿につき布ナプキン1枚の作製費が支援されます。布ナプキンの作製・配布・販売まで現地の女の子たちが自ら行うことで、貧しい家庭の女の子たちも繰り返し生理用品を利用できる環境を作るとともに、収入を得る機会を生み出していきます。

②現地コミュニティスペースの開設

コミュニティスペースは、布ナプキン作製・配布・販売の場として活用される一方、健康相談や衛生知識を提供する場になります。現地の看護師の方に常駐いただき、生理を含む健康に関する相談や衛生・性に関する知識を継続して提供する場を設けることで、衛生意識の向上を促進していきます。健康・衛生・性に関する知識の普及は、男女間のあらゆる格差を是正するために非常に重要です。



●「ハートサポート 2021」支援先

ザンビア共和国 首都ルサカ市のスラム街(ジョージ地区)です。およそ 20 万人が厳しい生活環境の中、不安定な収入や感染症など様々な問題を抱えながら暮らしています。ザンビアの女の子たちの多くは生理用ナプキンを買うことができず、古着や新聞紙などの不衛生なもので代用するため、劣悪な生活環境下で感染症などのさまざまな問題が発生しています。

また、学校でもトイレが備わっていないことや、あっても鍵がかからずプライバシーが保てないことから、長時間生理用品を交換できず、漏れやおいの発生につながる場合があります。そのことを同級生にからかわれることがいやで学校を休む女の子が約 10 人に 1 人いるといわれています。またザンビアの女の子の多くは、文化・慣習的に生理について話すことが憚れることから、生理に関する知識が不足しています。

こうした現地の女の子の生理に関する悩みをわかりやすく知ってもらうために、ハートサポート 2021 ではマンガを SNS とホームページで掲載しました。マンガを読んで「日本とは異なる環境で、生理期間を過ごす女の子たちがいることを初めて知った」などといったコメントが多数寄せられました。

